

10月27日、2丁目の45班は、松が丘中央会館で行われた「カフェテラス松が丘」を利用して頂き、「班会合」を行いました。班会合と云うとちょっと堅苦しさも感じてしまうので、出来るだけ気楽に参加して頂けるように。そして「カフェテラス松が丘」も一度覗いて見たいけど、一人ではちょっとと云う方に体験も兼ねて、便乗したかたちでの班会合となりました。心配など全く不要な事で6名(男性3、女性3)の方が参加して下さい、楽しい会合となりました。



<加藤会長も参加した2-45班の班会合>

会をどのように進めようかと迷いもあったのですが、班会合の共通テーマでもある「集団資源回収」について、回収事業プロジェクトメンバーの松本さんと白井さんが、更に自治会長から自治会の「高齢化対策」についての詳しい説明をして頂く事が出来ました。

資源回収に伴う報償金の使い道については街灯のLED化促進の希望も出され、高齢化については班長になるのが困難な場合の具体的な対応も必要となっている事が挙げられました。その他、大谷公園の表土が雨の度に道路まで流されて来る事について、土壌の補強など何処にどのようにお願いすれば良いのかとの疑問も出されていました。

今回は「カフェテラス松が丘」の見学を兼ねた一部代表だけの班会合でしたが、今後は多くの班メンバーとのコミュニケーションを図るべく、顔を会わせておしゃべり出来る機会を作り、その輪を更に広げて行きたいものと考えています。



<ハロウィンを飾った受付>



<「カフェテラス松が丘」でのお喋り>

「カフェテラス松が丘」のスタッフの皆様には大変お世話になりました。有難うございました。

2-45班 班長 小野俊郎

コメント

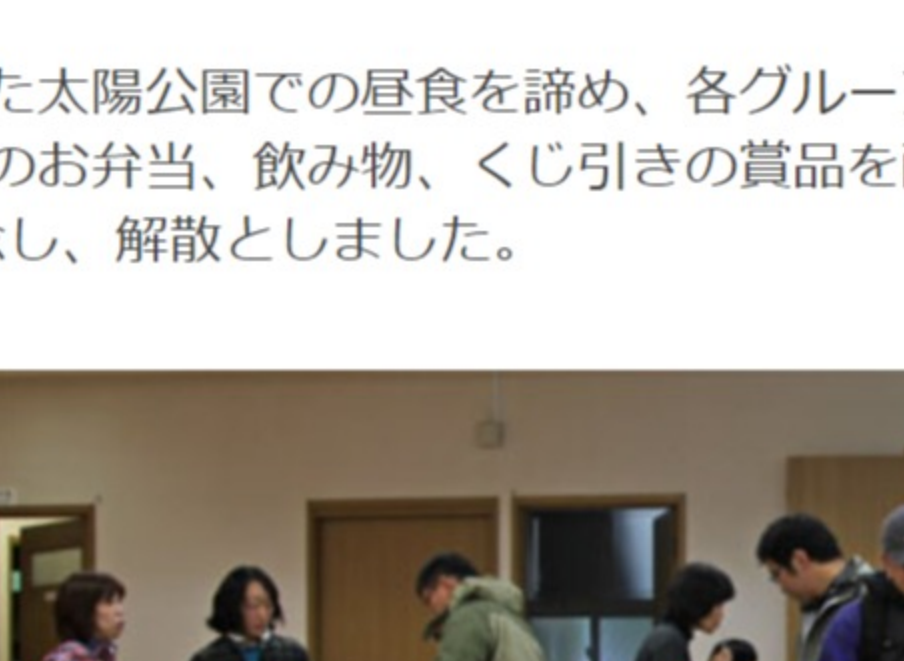
2.自治会実施報告：雨の中の「歩こう会」

10月28日(日)、移ろいやすい秋の空に苦労した、今年の歩こう会でした。



<全員で準備体操>

雨は午後からとの天気予報を信じて、中央公園に集合した参加会員は139名。全員で準備体操の後、9時30分に健脚(18名)、一般(75名)、ノンビリ(46名)の3グループに分かれて出発した時にパラパラ降り始めた雨は、期待に反し降り続けました。

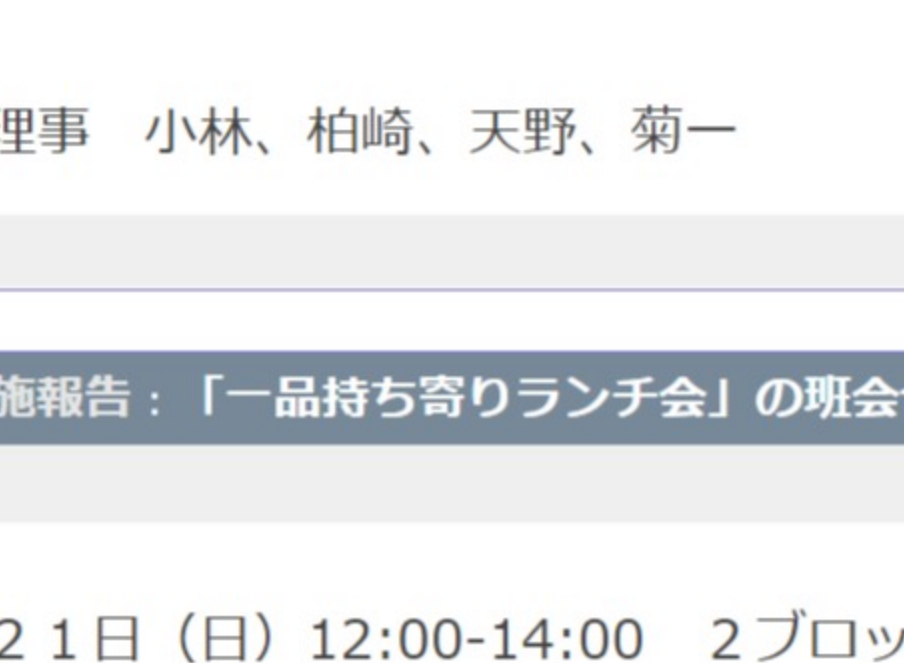


<雨宿りをした「いきものふれあいの里センター」>



<雨に濡れた花の中>

それでも皆さん、用意の雨傘を開いて、walking in the rain！子供たち(17名参加！)も、可愛いレインコートで頑張りました。



<walking in the rain！>



<可愛いレインコート>

予定した太陽公園での昼食を諦め、各グループともコースを変更し中央会館を目指しました。会館で用意のお弁当、飲み物、くじ引きの賞品を配布し、「来年の晴れ渡った秋空の下での歩こう会」を折念し、解散としました。



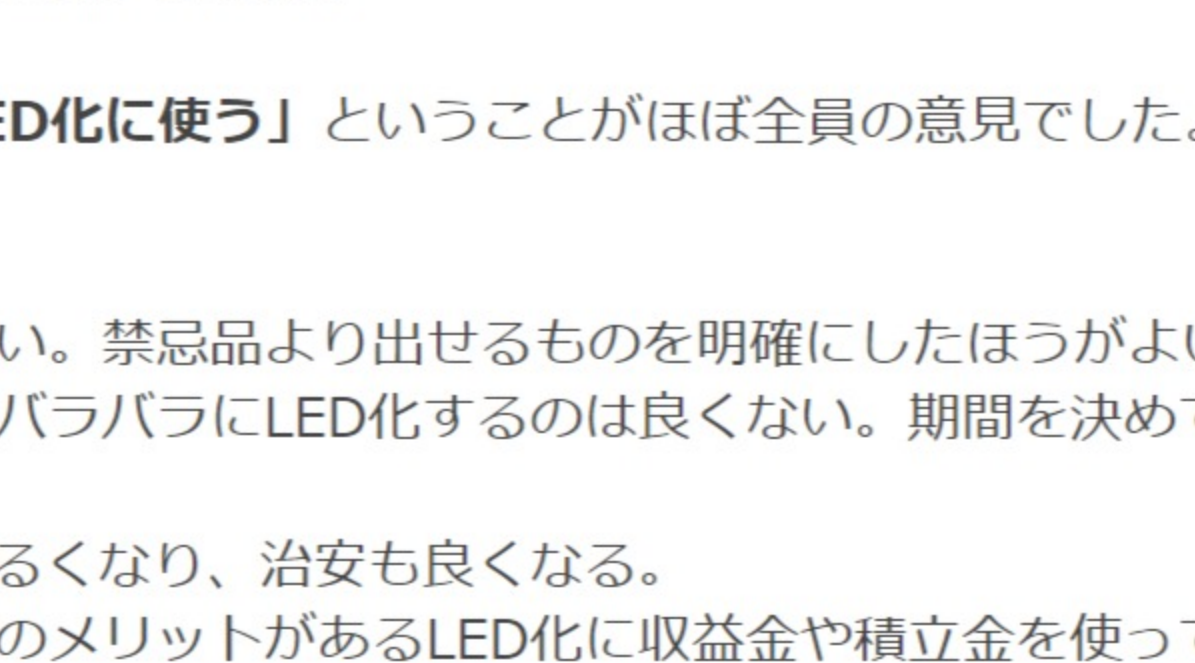
<中央会館で、お弁当、飲み物、くじ引きの賞品を配布>

行事担当理事 小林、柏崎、天野、菊一

コメント

2.自治会実施報告：「一品持ち寄りランチ会」の班会合を実施

10月21日(日)12:00-14:00 2ブロックの1-13~15班と1-16A班の合同班会合を「一品持ち寄りのランチ会」として実施しました。参加戸数11戸(所属戸数27戸)、参加人数17名(女性10名、男性7名)



今回の班会議で、何よりの成果は和気あいのランチ会でした。Aさんのお庭をおかりして、気持ちの良い秋空のもと、テーブルには色とりどりの持ち寄りのご馳走が並びました。

まず腹ごしらえに、おにぎりや豚汁、人気店のパン、数種類のサラダに揚げたてのクリームコロッケをいただきました。

お手製の料理に、次々と手が伸び、おしゃべりの花が咲きました。Aさんが丹精込めたバラの芳香が漂い、テーブルの中央にはBさん宅の大輪のバラが飾られました。

心もお腹も豊かに満たされて、ご近所付き合いを満喫しました。

班会合の議論では、最初に来年の4月から実施される集団資源回収の内容を班内の自治会役員の方から説明がありました。そして、『集団資源の回収方法と収益金の使い方について』話し合いました。

「収益金は防犯灯のLED化に使う」ということがほぼ全員の意見でした。

主な意見
 ・「雑がみ」は判りづらい。禁忌品より出せるものを明確にしたほうがよい。
 ・古い蛍光灯の防犯灯をバラバラにLED化するのは良くない。期間を決めて(1年とか3年とか)一斉に変えるのがいい。
 ・LED化によって街が明るくなり、治安も良くなる。
 ・会館の修繕より、全員のメリットがあるLED化に収益金や積立金を使って欲しい。
 ・集積所の修繕費用は、今は不要である(集積所を使う人から集めたお金が残っているため)。
 ・修繕積立金等のお金を自治会がいつもプールしておくのは、無駄遣いが増えるので良くない。
 ・2丁目まで金たときに自治会費を減らすという話があったが、金額がずっと変わらない。
 ・松が丘の街からも市議会議員を出して欲しい。

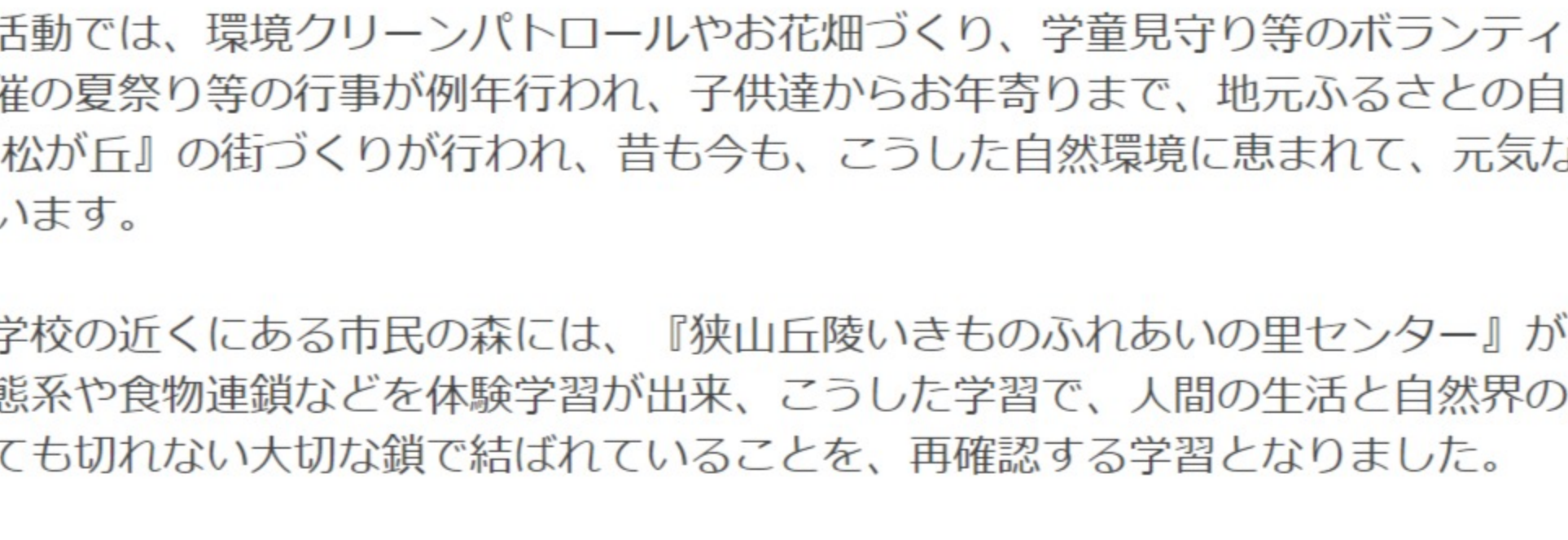
1-13~15班 班長 岡澤 裕、1-16A班 班長 (岩本記)

コメント

2.自治会実施報告：所沢市立元橋小学校6年生の『総合的な学習の時間』

『松が丘の街と自然環境を育てる狭山丘陵』

平成24年10月24日午前8時45分より、『総合的な学習の時間』の校外学習(6年生児童58人、自治会役員・ボランティアチームの環境クリーンパトロール他住民18人参加)が開催されました。



<松が丘中央会館での体験学習風景>

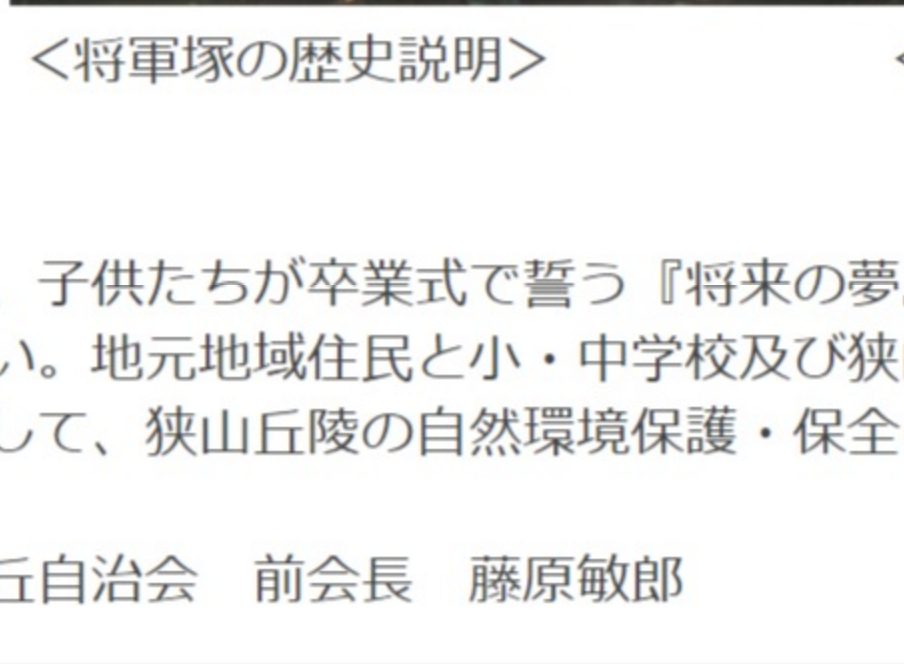
テーマは、**松が丘の街が生まれた経緯と緑の街を維持する住民活動を、狭山丘陵に住む生き物の生活と絡めて、自然環境の保全の大切さを体験学習**しました。学習内容は、松が丘の街の周囲にある鳩峰公園・八国山緑地の自然環境と生き物をアニメ映画『となりのトトロ』の中で、関連づけて、子供たちに興味を持たせた手法で、講義と現地探索で学びました。



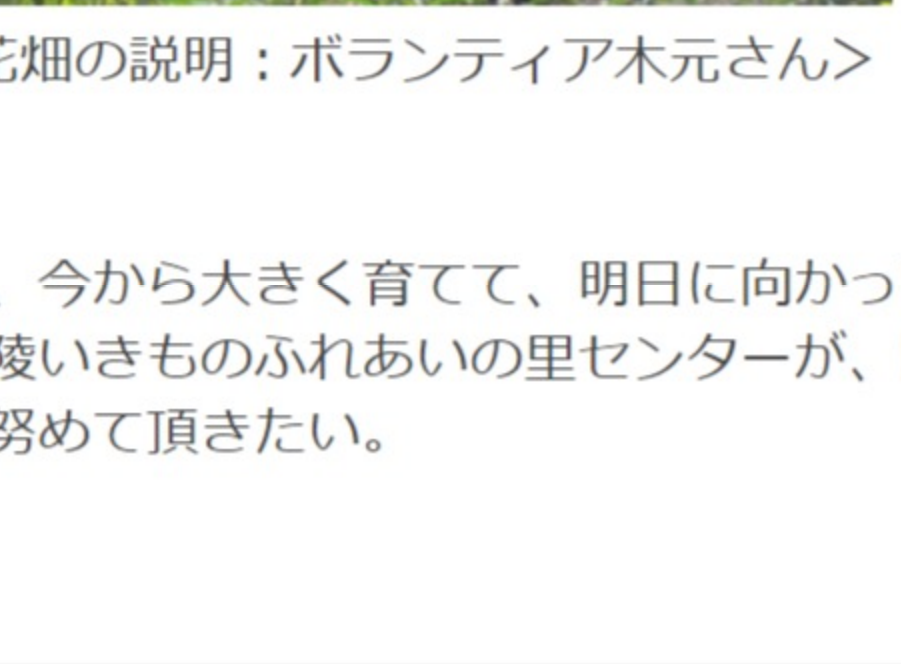
<会長の挨拶>



<前会長の説明>



<真剣に学習する6年生>

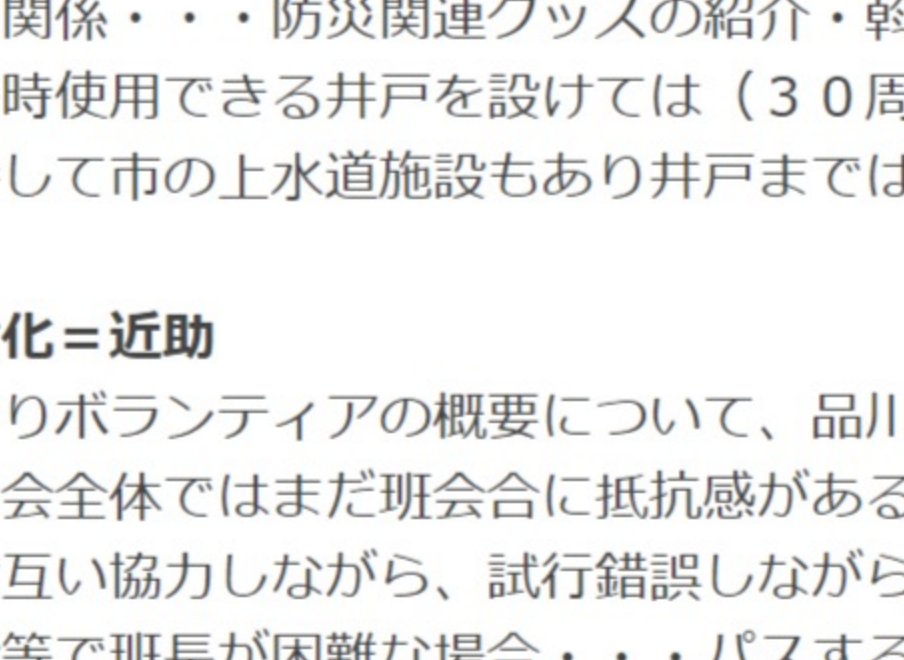


<『狭山丘陵いきものふれあいの里センター』佐藤先生の説明>

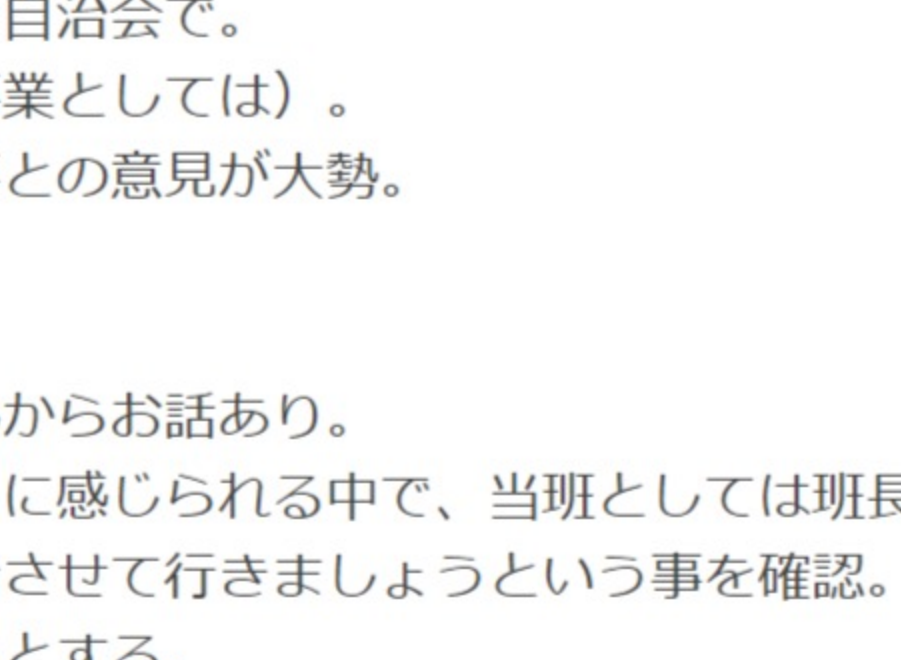
狭山丘陵の歴史では、貝殻の発掘状況や鎌倉攻めの歴史、湧水の少ない大谷田んぼでの稲作、景気向上時の宅地開発が水田をつぶし、周りの丘陵の緑が危ぶまれることへ、住民による自然環境の保護活動は『建築協定から地区計画(街ぞで憲章)』にまで発展し、自然環境保護に努めました。平成14年には『国土交通大臣表彰の景観賞』の受賞迄に至りました。

日々の活動では、環境クリーンパトロールやお花づくり、学童見守り等のボランティア活動と自治会主催の夏祭り等の行事が例年行われ、子供達からお年寄りまで、地元ふるさとの自然豊かな緑の街 松が丘の街づくりが行われ、昔も今も、こうした自然環境に恵まれて、元気な子供たちが育っています。

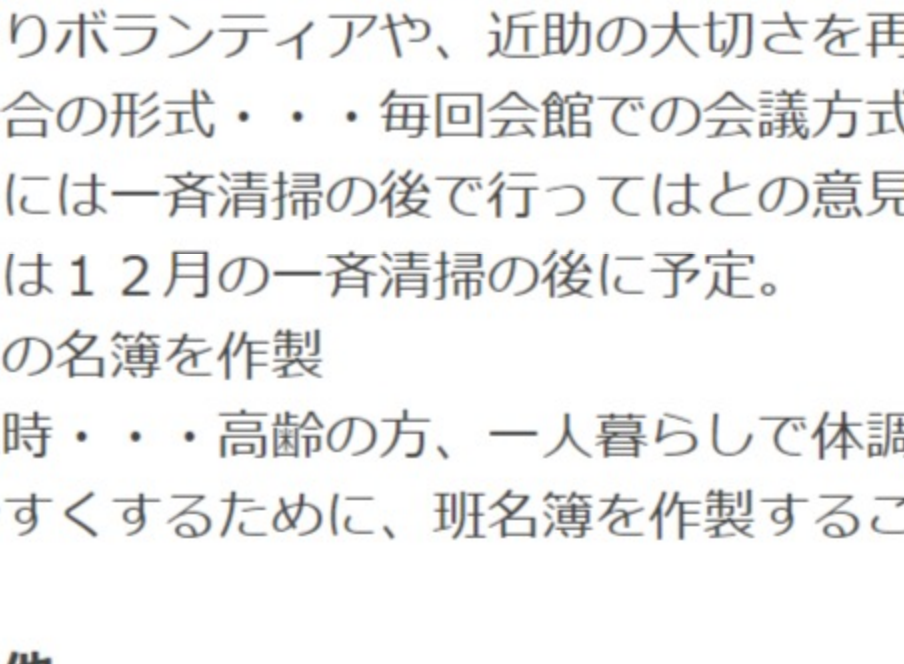
また、学校の近くにある市民の森には、『狭山丘陵いきものふれあいの里センター』があり、生き物の生態系や自然環境などを体験学習が、『狭山丘陵いきものふれあいの生活と自然』の生き物は、切っても切れない大切な鎖で結ばれていることを、再確認する学習となりました。



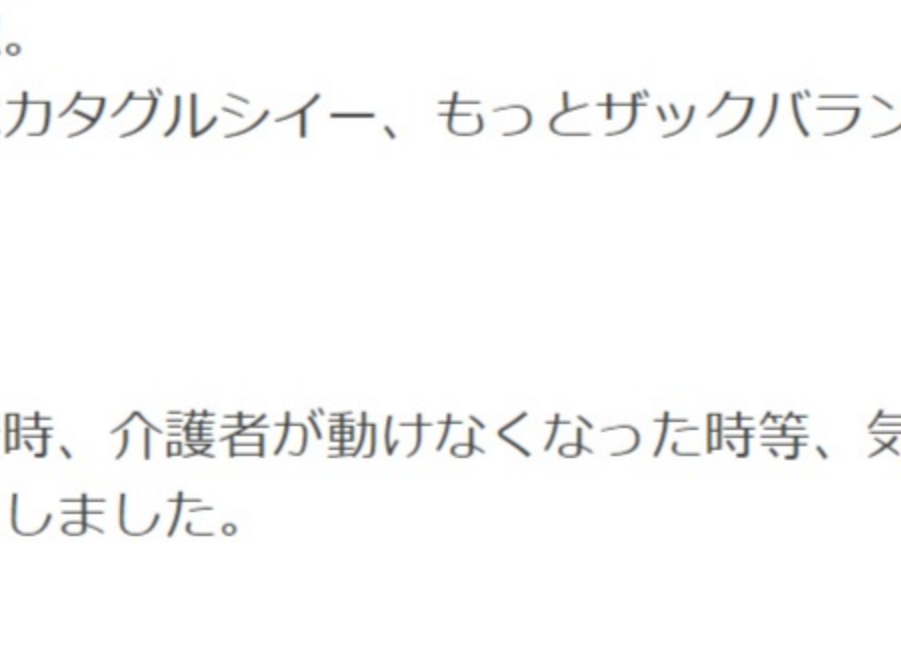
<発掘された貝殻の化石>



<八国山で生き物の命の大切さを説明>



<将軍塚の歴史説明>



<お花畑の説明：ボランティア木元さん>

最後に、子供たちが卒業式で誓う『将来の夢』を、今から大きく育てて、明日に向かって羽ばたいてほしい。地元地域住民と小・中学校及び狭山丘陵いきものふれあいの里センターが、同一な目的を目指して、狭山丘陵の自然環境保護・保全に、努めて頂きたい。

所沢松が丘自治会 前会長 藤原敏郎

コメント

2.自治会実施報告：本年度 初めての班会合が開催される

松が丘2丁目40A班では、秋晴れの中、平成24年10月13日(土)13:30~15:00 中央会館ホールで班会合を開催しました。本年度の班会合として最初の班会合になりました。参加戸数10戸(所属戸数13戸)、参加者数10人(男性5人、女性5人)

自治会からの班会合資料に基づいて話し合いをしました。

- 1. 集団資源回収**
 - (1) 出し方等概略を自治会作成メモで説明
 - (2) 意見・感想
 - ・牛乳パック(固い箱ノも同様)・・・作業に手間がかかりすぎ対応出来ない。
 - ・窓あき封筒など、雑紙の取り扱いが面倒。
 - ・古布・・・洗濯して出すのに抵抗感あり(従来と同様可?)。
- 2. 資源報奨金、会費・修繕積立金の使い方**
 - (1) 資源報奨金
 - ・自治会会計の収入に計上する
 - ・報奨金を別会計にし、集積所の改修費として使う
 - 集積所は各戸で費用を出して作った物であり、改修は自治会が関与すべきでない。
 - (2) 会費・修繕積立金の使い方
 - ・規約の縛り、予算額、等検討課題が多く、使途云々の投げかけだけでは問題あり。
 - (3)今後やって貰いたい事業等
 - ・防犯・防災備品の充実(例：防災倉庫の備蓄)
 - ・ボランティア活動への活動費援助
 高齢化社会では各種ボランティア活動の重要性は益々高くなる中、より充実した活動をお願いする為にも、報奨金の大半をボランティア支援に当てても良いのでは！
 - ・防災関係・・・防災関連グッズの紹介・輪転を自治会で。
 - ・災害時使用できる井戸を設けては(30周年事業としては)。
 隣接して市の上水道施設もあり井戸までは不要との意見が大勢。
- 3. 高齢化=近助**
 - ・見守りボランティアの概要について、品川さんからお話しあり。
 - ・自治会全体ではまだ班会合に抵抗感があるように感じられる中で、当班としては班長任せではなくお互い協力しながら、試行錯誤しながら定着させて行きたいという事を確認。
 - ・高齢等班長が困難な場合・・・パスすることとする。
 - ・例え、体力的に班長が可能でも、班会合は苦手という場合はメンバーが全面的に協力することで合意。
 - ・旅行等で留守時は隣同士遠慮なく連絡し合っている。
 - ・見守りボランティアや、近助の大切さを再確認。
 - ・班会合の形式・・・毎回会館での大会議方式ではカタグリンシー、もっとザックバランに会話が出来るとは一斉清掃の後で行ってはその意見。
 - 次回12月の一斉清掃の後に予定。
 - ・班内の名簿を作製
 - 緊急時・・・高齢の方、一人暮らしで体調異常時、介護者が動けなくなった時等、気軽に声を掛けやすくするために、班名簿を作製することにしました。
- 4. その他**
 - ・1丁目志田処跡公園近くの歩道がデコボコで危ないので補修をしてもらいたいとの要望がありました。(子供さんが躓いて転びました)

2-40A班 班長 木村俊治

コメント